

2012 年度香港・マカオ日本語能力試験実施報告

Report on JLPT, 2012 (Hong Kong and Macau)

劉 礪志
日本語能力試験実施委員会 担当理事

1. はじめに

前年度の新日本語能力試験と比べ、今年の応募者がおよそ 12%減少した。もっとさかのぼり、新試験が実施される前の 2009 年旧試験（1 級-4 級）のデータと見比べると、36%減という更に驚くべき数字が見えてきた。

新試験へ切り替えた初年度の学習者の減少現象は新試験へのさまざまな配慮によるものようだったが、3 年間の月日が経過した今も応募者数が減りつつあるということは、日本語学習はもちろん、日本そのものに対するイメージに対し変化が出てきているということであるに違いない。原因を探るための一つのヒントとして、12 月の試験応募者を対象に行われた、宇田川洋子先生の「香港の日本語能力試験受験者減少の要因を探る－アンケート調査実施報告－」を参照されたい。

2. 2012 年度の実施に関するデータ

次は 2012 年度日本語能力試験の実施に関する報告である。

2.1 応募手段

日本語能力試験申込の受付センターは当香港日本語教育研究会のほかに香港日本文化協会日本語講座と第一日語暨文化学校の 3 か所である。マカオでは 99 年よりマカオ大学の協力を得て行われている。2005 年よりオンライン申込が可能になったとともに、自ら受験申請のためわざわざ受付センターへ足を運ぶのを省き、好評を博しつつあるのである。

表 1 は 05 年から 12 年までの応募者のオンライン及び受付センター申込の利用比率である。

インターネット利用の普及、それから生活スタイルの変化とともに一層現在の人々の生活に合ったオンライン申込システムの導入および開発などが必要であろう。

表 1 2005 年～2012 年 応募手段の推移（香港・マカオ）

年度	ウェブ申込 (香港会場のみ)		センター申込 (香港会場のみ)		応募者数		
	応募者数	比率 (%)	応募者 数	比率 (%)	マカオ 会場	香港会場	総人数
05 年度	5,653	50.2	5,606	49.8	292	11,259	11,551
06 年度	6,405	47.9	6,967	52.1	339	13,372	13,711
07 年度	7,853	52.0	7,255	48.0	438	15,108	15,546
08 年度	9,282	54.7	7,692	45.3	587	16,974	17,561
09 年度第 1 回	2,575	67.5	1,238	32.5	0	3,813	3,813
09 年度第 2 回	12,910	78.9	3,452	21.1	462	16,362	16,824
10 年度第 1 回	2,836	82.0	623	18.0	0	3,459	3,459
10 年度第 2 回	8,903	82.4	1,902	17.6	295	10,805	11,100
11 年度第 1 回	5,037	83.4	1,000	16.6	0	6,037	6,037
11 年度第 2 回	6,800	82.3	1,467	17.7	285	8,267	8,552
12 年度第 1 回	4,890	82.8	1,019	17.2	0	5,909	5,909
12 年度第 2 回	5,549	82.9	1,142	17.1	296	6,691	6,987

2.2 受験料の支払い

三年前から利用開始の PPS（電子マネーの一種）システムの利用が下記表 2 で分かるように、小切手と比べ 8 割以上を超え、利用率が相当高い。一方、減りつつある小切手による支払いは 12 月試験では 10 パーセントにもなっていない使用率だった。これは人たちが一層便利な、煩わしくない生活を求めつつある証拠かも知れない。応募者のニーズそして新たになった生活様式に合わせ、今後新たな支払い手段を発見し検討していきたいのである。

表 2 2009 年～2012 年 ウェブ申込の支払い手段の推移（香港）

年度	ウェブ申込 人数	PPS で支払う 人数	比率 (%)	小切手で支払う 人数	比率 (%)
09 年度	12,910	10,458	81.0	2,452	19.0
10 年度第 1 回	2,836	2,319	81.8	517	18.2
10 年度第 2 回	8,903	7,502	84.3	1,401	15.7
11 年度第 1 回	5,037	4,445	88.2	592	11.8
11 年度第 2 回	6,800	5,925	87.1	875	12.9
12 年度第 1 回	4,890	4,355	89.1	535	10.9
12 年度第 2 回	5,549	5,028	90.6	521	9.4

2.3 試験会場

表3は2012年度試験が行われた会場である。

九龍灣国際展貿中心は最も大人数が収容可能で、場所的にもよく知られている有名な会場である。

表3 2012 年度試験会場リスト（香港・マカオ）

	会場名	7月試験	12月試験
1	九龍灣国際展貿中心 3/F, Star Hall	×	○ (N3, N5)
2	九龍灣国際展貿中心 G/F, Rotunda 1	×	○ (N4)
3	九龍灣国際展貿中心 3/F, Rotunda 2	×	○ (N1, N4)
4	九龍灣国際展貿中心 6/F, Rotunda 3	○ (N2, N4)	○ (N2, N5)
5	九龍灣国際展貿中心 7/F, 会議室	×	○ (N3, N4)
6	黄棣珊紀念中学	○ (N3, N5)	×
7	銘賢書院	○ (N1, N4)	○ (N2)
8	恵僑英文中学	○ (N2)	×
9	聖瑪加利男女英文中小学	×	○ (N1)
10	マカオ大学	×	○ (N1-N5)

2.4 応募者数及び受験者数

表4は2012年度試験の応募者数及び受験者数のデータである。

下記データから2012年度試験の全体的受験率が85パーセント以上を超えていることが分かった。

表4 2012 年度応募者数・受験者数と受験率（香港・マカオ）

	2012 年 7 月 試 験			2012 年 12 月 試 験		
	応募者数	受験者数	受験率 (%)	応募者数	受験者数	受験率 (%)
N1	1,036	902	87.1	1,291	1,098	85.1
N2	1,291	1,129	87.5	1,378	1,192	86.5
N3	1,077	940	87.3	1,235	1,076	87.1
N4	1,296	1,136	87.7	1,592	1,395	87.6
N5	1,209	1,096	90.7	1,491	1,345	90.2
合計	5,909	5,203	88.1	6,987	6,106	87.4

3. 応募者に関するデータ

受験願書より下のように応募者に関するデータが分かった。また、3.4 項から 3.8 項までは独立行政法人国際交流基金により願書に設けられたアンケート調査であり、内容については今後変更が加わる場合があるそうである。

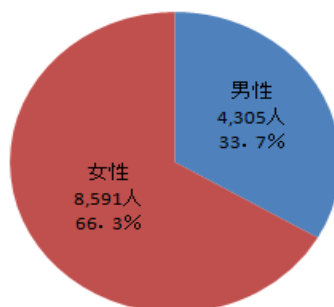
3.1 性別

表 5 は応募者の性別の比率データである。なお、図 1 の円グラフは年間の応募者全体の比率を示している。

表 5 2012 年度 応募者の性別（香港・マカオ）

	2012 年 7 月試験				2012 年 12 月試験			
	男性（人）	比率	女性（人）	比率	男性（人）	比率	女性（人）	比率
N1	389	37.5%	647	62.5%	474	36.7%	817	63.3%
N2	439	34.0%	852	66.0%	446	32.4%	932	67.6%
N3	334	31.0%	743	69.0%	367	29.7%	868	70.3%
N4	433	33.4%	863	66.6%	486	30.5%	1,106	69.5%
N5	412	34.1%	797	65.9%	525	35.2%	966	64.8%
合計	2,007	34.0%	3,902	66.0%	2,298	32.9%	4,689	67.1%

図 1 2012 年度試験応募者性別比率（香港・マカオ）



3.2 年齢

願書に記入された応募者のデータから、次の図 2（7 月試験）と図 3（12 月試験）で示したように、各レベルにおける応募者の年齢分布が分かった。

例年と同じく応募者の多くは 20 代が占めており応募者全体の半分以上となった。その中 8 歳の最少年者と 82 歳の最高年者受験者がそれぞれ一人、N5 及び N2 に応募したデータが分かった。

3.3 母語

表 6 及び表 7 は応募者の母語を示しているものである。

広東語、北京語及び他の方言を含む「中国語」を母語とする応募者の人数が全体で 99%以上あったことが分かった。

表 6 2012 年 7 月試験 応募者の母語（香港）

母語	合計	N1	N2	N3	N4	N5
中国語（広東語）	5,720	975	1,239	1,050	1,274	1,182
中国語（北京語）	122	43	37	15	12	15
中国語（その他の方言）	9	4	0	1	0	4
英語	47	11	11	9	9	7
日本語	3	1	2	0	0	0
フランス語	3	0	0	2	0	1
韓国・朝鮮語	2	1	1	0	0	0
ピリピノ語	1	0	0	0	1	0
アイスランド語	1	1	0	0	0	0
スウェーデン語	1	0	1	0	0	0
（合計）	5,909	1,036	1,291	1,077	1,296	1,209

表 7 2012 年 12 月試験 応募者の母語（香港・マカオ）

母語	合計	N1	N2	N3	N4	N5
中国語（広東語）	6,725	1,210	1,316	1,196	1,552	1,451
中国語（北京語）	165	53	48	28	23	13
中国語（その他の方言）	21	6	5	2	3	5
英語	63	20	6	8	10	19
フランス語	4	0	2	0	1	1
韓国・朝鮮語	2	0	1	0	1	0
マレー語	2	0	0	0	2	0
日本語	1	1	0	0	0	0
インドネシア語	1	0	0	0	0	1
ドイツ語	1	0	0	1	0	0
スペイン語	1	0	0	0	0	1
その他	1	1	0	0	0	0
（合計）	6,987	1,291	1,378	1,235	1,592	1,491

3.4 日本語学習の場

アンケート調査の質問：

あなたに最も当てはまるものを一つ選んで、□に記入してください。

アンケートの結果：

表8 日本語学習の場

	アンケートの選択	答えの比率 % (7月試験)						答えの比率 % (12月試験)					
		全体	N1	N2	N3	N4	N5	全体	N1	N2	N3	N4	N5
1	現在、小学校（初等教育）で日本語を学んでいる	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.2	0.0	0.1
2	現在、中学校・高校（中等教育）で日本語を学んでいる	1.9	0.4	0.5	1.8	2.5	4.2	1.2	0.5	0.8	1.1	0.9	2.7
3	現在、大学・大学院（高等教育）の主専攻で日本語を学んでいる	5.6	10.4	9.8	6.4	1.6	0.6	4.7	9.7	8.0	4.6	1.6	0.6
4	現在、大学・大学院（高等教育）の主専攻以外で日本語を学んでいる	6.0	5.7	7.9	7.4	5.6	3.5	4.7	4.8	6.2	6.0	3.7	3.4
5	現在、語学学校等のその他の教育機関で日本語を学んでいる	57.6	33.7	49.2	59.9	67.7	74.2	58.3	34.2	51.0	58.6	69.3	73.7
6	現在、1～5の教育機関で日本語を学んでいない	28.8	49.7	32.5	24.5	22.5	17.3	31.0	50.8	33.9	29.5	24.5	19.5

上のデータから応募者の日本語学習の場として、半数以上が語学学校で行ったことが分かった。

3.5 受験目的

アンケート調査の質問：

あなた今回の試験を受ける目的を一つ選んで、□に記入してください。

アンケートの結果：

表9 受験目的

	アンケートの選択	答えの比率 % (7月試験)						答えの比率 % (12月試験)					
		全体	N1	N2	N3	N4	N5	全体	N1	N2	N3	N4	N5
1	大学や大学院入学に必要 (自分の国で)	2.5	2.7	3.0	2.6	1.9	2.5	2.4	2.0	2.5	2.5	2.4	2.4
2	大学や大学院入学に必要 (日本で)	2.6	4.0	3.2	2.5	1.6	1.8	2.5	3.6	3.3	1.9	2.1	1.9
3	その他の教育機関での入学や能力証明に必要 (自分の国で)	1.9	0.9	2.2	1.7	1.8	2.9	2.0	1.4	1.7	2.3	2.0	2.7
4	その他の教育機関での入学や能力証明に必要 (日本で)	1.5	1.1	1.9	1.5	1.9	1.1	1.5	0.9	2.9	1.3	1.0	1.5
5	自分の仕事やこれからの就職・昇給・昇進に役立つ (自分の国で)	16.8	23.0	19.6	16.2	13.9	12.2	16.9	22.3	20.2	14.7	14.9	13.2
6	自分の仕事やこれからの就職・昇給・昇進に役立つ (日本で)	1.8	2.8	1.5	1.7	2.0	1.0	1.9	2.6	2.1	2.2	1.3	1.4
7	上の1～6以外で、自分の実力が知りたい	59.7	57.1	58.4	61.6	61.0	60.3	59.9	57.2	56.8	64.1	61.3	60.1
8	その他	13.2	8.4	10.2	12.2	15.9	18.2	12.9	10.0	10.5	11.0	15.0	16.8

3.6 職業

アンケート調査の質問：

あなたの職業について、一つ選んで、□に記入してください。

アンケートの結果：

表 10 職業

	アンケートの選択	答えの比率 % (7月試験)						答えの比率 % (12月試験)					
		全体	N1	N2	N3	N4	N5	全体	N1	N2	N3	N4	N5
1	小学生（初等教育）	0.4	0.3	0.1	0.2	0.3	1.3	0.3	0.0	0.1	0.2	0.1	0.8
2	中学生・高校生（中等教育）	11.5	3.5	6.6	12.1	15.6	18.9	10.0	2.6	5.7	9.3	11.9	18.8
3	大学・大学院生（高等教育）	21.2	23.9	26.6	21.1	17.0	17.8	18.7	19.0	23.0	21.5	16.7	14.4
4	語学学校等のその他の教育機関の学生	3.3	2.4	4.1	3.4	3.4	3.1	3.5	3.5	3.6	3.7	3.3	3.7
5	就業（会社員・公務員・教員・自営等）	57.1	62.5	55.9	56.5	57.1	54.1	59.8	64.6	59.9	57.8	60.6	56.5
6	その他	6.5	7.4	6.7	6.7	6.6	4.8	7.7	10.3	7.7	7.5	7.4	5.8

3.6.1 職業の種類

アンケート調査の質問：職業で5を選んだ人に聞きます。

あなたに最も当てはまるものを一つ選んで、□に記入してください。

アンケートの結果：

表 1 1 職業の種類

アンケートの 選択	答えの比率 % (7月試験)						答えの比率 % (12月試験)					
	全体	N1	N2	N3	N4	N5	全体	N1	N2	N3	N4	N5
1 教育機関の日本語教員として仕事で日本語を使っている	0.4	0.5	0.6	0.2	0.5	0.0	0.6	1.7	0.2	0.1	0.5	0.1
2 公的機関に勤務して仕事で日本語を使っている	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.2	0.6	0.6	0.1	1.0	0.5	0.8
3 製造業、建設業、情報通信業などの企業に勤務して仕事で日本語を使っている	9.0	16.0	11.1	7.2	4.2	6.7	7.9	14.4	9.0	6.4	5.3	4.8
4 サービス業、観光業、接客業などの仕事で日本語を使っている	11.6	13.3	10.8	11.0	12.2	10.9	12.5	14.0	10.8	10.6	12.3	14.3
5 1～4以外の職業で仕事で日本語を使っている	8.7	15.3	8.7	7.6	6.5	6.0	9.7	16.1	10.2	9.2	6.1	7.5
6 仕事で日本語は使わない	69.9	54.4	68.4	73.5	76.1	76.2	68.7	53.2	69.7	72.7	75.3	72.5

仕事のために受験するという傾向ではないと上3. 5の「受験目的」で分かったが、こちらの「職業の種類」のデータから見ると、「仕事で日本語は使わない」項目を70%選択されたということは受験者は仕事のためでなく本当に自分の実力を証明したいかもしれない。

3.7 日本語との接触媒体（メディア）

アンケート調査の質問：

あなたは教室の外で何を通じて日本語を聞いたり読んだりしますか。当てはまるものを選んで、○で囲んでください。

アンケートの結果：

表12 日本語との接触媒体（メディア）

	アンケートの 選択	答えの比率 % (7月試験)						答えの比率 % (12月試験)					
		全体	N1	N2	N3	N4	N5	全体	N1	N2	N3	N4	N5
1	ニュース・ド キュメンタリ ー	24.8	40.8	29.6	22.0	18.3	15.6	23.1	36.3	30.6	21.5	16.5	13.3
2	ドラマ（アニ メを除く）	76.5	77.1	79.2	78.7	75.2	72.5	75.9	76.4	79.3	77.8	75.6	70.8
3	アニメ	56.8	54.2	58.6	56.1	56.3	58.6	56.5	55.1	56.8	57.7	56.2	56.8
4	新聞・雑誌 （漫画を除 く）	42.2	51.5	47.1	43.5	36.5	33.7	39.7	49.3	43.8	38.5	35.0	33.3
5	本（教科書を 除く）	31.6	48.9	36.9	30.5	25.4	18.9	30.3	47.1	36.5	29.0	22.9	18.8
6	漫画	38.5	42.2	41.4	38.3	35.8	35.2	36.8	41.5	39.1	37.0	33.6	33.8
7	ウェブサイ トの記事	54.8	64.3	58.9	57.8	50.0	44.6	52.5	63.3	58.2	54.2	46.4	43.0
8	その他	19.2	21.5	19.9	18.3	18.1	18.4	19.9	21.7	19.9	17.2	19.4	20.9
9	教室外で日本 語にふれて、 聞いたり読ん だりしない	4.4	2.5	3.5	4.5	4.9	6.5	4.1	3.8	3.1	4.7	4.6	4.3

「ドラマ、アニメ、ウェブサイトの記事、雑誌、マンガ…」のような人気順は当然といえば当然かも知れないが、かつては二三の位を争っていたはずの日本の「マンガ」はインターネットの普及とともに「ウェブサイトの記事」に追い越され、なお、日本語学習においてかなり役立ち、しかもより高いレベルの日本語と接することができる、「ニュース・ドキュメンタリー」はそれほど人気ではないこともこのアンケートで分かった。

3.8 日本語を使用する相手

アンケート調査の質問：

日常的に、誰に対して日本語を使いますか。当てはまるものを選んで、○で囲んでください。いくつ選んでもいいです

アンケートの結果：

表 1 3 日本語を使用する相手

先生

	アンケートの選択	答えの比率 % (7月試験)						答えの比率 % (12月試験)					
		全体	N1	N2	N3	N4	N5	全体	N1	N2	N3	N4	N5
1	先生と話す	57.2	51.7	61.3	60.5	56.4	55.6	55.0	50.0	57.6	55.2	55.5	56.3
2	先生の話を聞く	57.7	46.4	58.6	61.6	60.1	60.5	57.0	45.5	57.3	57.9	61.6	60.8
3	先生が書いたものを読む	29.6	26.0	31.2	32.0	29.1	29.6	28.6	24.5	30.8	29.0	30.0	28.3
4	先生に対して文章を書く	29.5	28.2	32.5	35.0	27.2	25.1	28.7	28.4	32.7	30.4	26.9	25.8
5	どれにも当てはまらない	30.1	41.0	28.5	26.8	27.7	28.0	31.8	43.8	31.5	30.0	27.6	27.6

友人

	アンケートの選択	答えの比率 % (7月試験)						答えの比率 % (12月試験)					
		全体	N1	N2	N3	N4	N5	全体	N1	N2	N3	N4	N5
1	友人と話す	46.3	56.9	48.0	46.1	40.7	41.2	46.3	55.2	50.6	44.1	42.7	40.1
2	友人の話を聞く	32.9	42.3	36.6	31.9	27.5	27.8	31.6	40.1	36.6	29.6	27.8	25.1
3	友人が書いたものを読む	18.9	27.0	21.6	21.1	14.4	12.1	18.6	27.9	21.3	18.2	15.3	11.7
4	友人に対して文章を書く	18.6	28.1	21.8	19.8	13.0	12.1	18.7	29.6	21.2	17.8	14.8	12.1
5	どれにも当てはまらない	42.7	32.5	39.4	42.3	48.6	49.0	43.5	34.4	39.3	44.7	46.2	51.3

家族

	アンケートの選択	答えの比率 % (7月試験)						答えの比率 % (12月試験)					
		全体	N1	N2	N3	N4	N5	全体	N1	N2	N3	N4	N5
1	家族と話す	7.2	5.4	7.0	8.0	6.4	9.0	7.4	7.5	7.4	6.3	7.9	7.6
2	家族の話を聞く	3.7	3.5	3.9	3.4	3.5	4.1	4.0	5.0	4.7	2.8	3.9	3.5
3	家族が書いたものを読む	1.3	1.4	1.4	1.0	1.5	1.2	1.3	1.5	1.6	1.1	1.4	1.1
4	家族に対して文章を書く	1.1	1.3	1.3	0.8	1.3	0.9	1.3	1.6	1.2	1.1	1.5	1.2
5	どれにも当てはまらない	91.3	93.1	90.7	91.0	92.1	89.8	91.1	91.1	90.9	92.8	90.5	90.7

上司

	アンケートの選択	答えの比率 % (7月試験)						答えの比率 % (12月試験)					
		全体	N1	N2	N3	N4	N5	全体	N1	N2	N3	N4	N5
1	上司と話す	9.4	22.3	10.8	5.7	5.8	4.3	9.5	21.8	10.0	6.2	5.4	5.2
2	上司の話を聞く	8.2	18.1	9.5	5.8	4.4	4.8	8.5	17.7	9.6	5.9	5.3	5.0
3	上司が書いたものを読む	5.0	12.5	6.3	2.9	2.2	1.9	5.2	13.2	5.3	3.9	2.5	2.1
4	上司に対して文章を書く	4.1	11.9	4.6	2.2	1.7	1.2	4.4	13.0	4.7	2.7	1.5	1.3
5	どれにも当てはまらない	87.8	75.3	85.7	90.9	92.4	93.0	87.4	74.8	86.3	90.4	91.9	92.0

同僚

	アンケートの選択	答えの比率 % (7月試験)						答えの比率 % (12月試験)					
		全体	N1	N2	N3	N4	N5	全体	N1	N2	N3	N4	N5
1	同僚と話す	11.7	23.2	12.5	8.4	7.9	8.0	11.9	22.7	12.2	8.3	9.0	8.5
2	同僚の話を聞く	9.1	19.0	10.3	6.6	5.1	6.0	9.4	18.0	10.7	6.0	6.7	6.6
3	同僚が書いたものを読む	5.5	13.7	5.7	3.3	2.7	3.3	5.3	12.5	5.0	4.2	3.1	2.7
4	同僚に対して文章を書く	4.4	12.3	4.9	2.6	1.9	1.7	4.3	11.9	3.9	3.2	1.6	1.7
5	どれにも当てはまらない	85.3	74.1	83.3	88.5	90.4	88.9	84.9	74.1	84.3	88.1	88.1	88.9

顧客

	アンケートの選択	答えの比率 % (7月試験)						答えの比率 % (12月試験)					
		全体	N1	N2	N3	N4	N5	全体	N1	N2	N3	N4	N5
1	顧客と話す	15.4	26.2	17.3	12.9	11.2	10.9	16.6	26.1	16.8	14.7	13.3	13.5
2	顧客の話を聞く	12.3	21.1	13.8	10.4	8.8	8.6	13.3	20.4	14.0	11.1	10.6	11.2
3	顧客が書いたものを読む	5.4	12.5	6.9	3.7	2.2	2.6	5.7	12.7	6.2	4.4	4.0	2.3
4	顧客に対して文章を書く	4.5	12.0	5.1	3.0	1.6	1.7	4.6	12.0	5.2	3.4	1.9	1.7
5	どれにも当てはまらない	81.3	70.2	78.9	83.8	85.8	86.6	79.4	70.0	78.7	81.6	82.8	82.8

まとめ

日本語能力試験の受験者数減少の原因はいろいろあるようだ。一方、日本語学習者の増減がまさに日本そのものに対する好感度を如実に反映している。近年、日本の環境や経済、他の国の世界的進出など、著しい変化が続々出てきているため今後それらに目を向け適切な姿勢を構えなければならないだろう。